

<放課後等デイサービスあゆむ>

令和3年度事業所向け児童発達支援自己評価表

令和4年2月1日現在

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		地域の方々との交流サロンスペースがあります。(コロナ感染防止のため制限あり)
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		児童センターが併設されていること等、事業所の特性を活かして多くのスタッフが支援できます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		一人一人にロッカーを用意しています 部屋に仕切りができるように工夫しています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		テーブル、ソファ等、過ごしやすい家具を設置しています
業務 改善	⑤	事業改善をするためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		毎日支援方法を検討しています
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、事業改善につなげているか	<input type="radio"/>		毎年3月に実施
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その評価による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開しているか	<input type="radio"/>		毎年3月に実施
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業改善につなげているか		<input type="radio"/>	実施の準備中
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		いつでも参加できるように研修費を予算化しています

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		平日は、次の日の学校につながる過ごし方、休業日は、体験活動を通じた活動を通して、達成感や成就感が味わえるように工夫しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		文部科学省の学習指導要領（特別支援学校編）に基づいた資料から発達段階及び支援内容を参考にしています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		活動を通して、達成感や成就感が味わえるように配慮しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○		⑫に関連
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		⑫に関連
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		⑫に関連
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		⑫に関連
	⑰	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		
	⑲	日々の支援に関し記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発	○			

		達支援計画の見直しの必要性の判断をしているか			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事業所内に相談支援事業所がある環境を有効に活用しています
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		各行政機関と連携しています
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関を連携した支援を行っているか	—	—	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		教育委員会等と連携を図っています。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		各相談支援事業所と連携をしています。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		事業所のイベント等を通して、地域の方々と交流する機会を設けています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		市の自立支援協議会に参加しています。また、地域交流の場を設けています。

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え あい、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っているか	○		定期的な相談や保護者の送迎時 等の機会に相談時間を設定して います
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）の支 援を行っているか	○		面談や相談を通して、支援方法 をお伝えしています
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営の規定、利用者負担等について丁 寧な説明を行っているか。	○		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発 達支援提供すべき支援」のねらい及び 支援内容と、これに基づき作成された 「児童発達支援計画」を示しながら支 援内容の説明を行い、保護者から児童 発達支援計画の同意を得ているか	○		
	③⑭	定期的に、保護者の子育ての悩み等に 対する相談に適切に応じ、必要な助言 と支援を行っているか。	○		学校現場での教育相談経験を活 かして支援を行っています
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催したりする等により、保護 者同士の連携を支援しているか	○		講習会等を通して保護者が集ま りやすい機会を設定していま す。
	③⑯	子どもや保護者からの相談の申し入れ について、対応の体制を整備するとと もに、子どもや保護者に周知し、相談や 申し入れがあった場合に迅速かつ丁寧 に対応しているか	○		保護者の都合のよい時間にでき るだけ合わせて対応しています
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信しているか	○		研修会のお知らせや HP での掲 載をしています。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している か	○		承諾書の手続きをとっています
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思 の疎通や情報伝達のため配慮をしてい るか	○		音声、視覚化等、伝わりやすい配 慮を心がけています
	④⑰	事業所音行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を行っている	○		移動図書館や移動パン屋さん等 が定期的に来る日を活用してい

		か			ます。
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		訓練を1月、3月・9月に予定しています。子どもたちも役割をもって訓練をしています。防火管理者を中心に各種訓練を計画しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		大震災の日に合わせ、事象を振り返りながら実施しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時、処方が変わるごとに確認させていただいています
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○		情報をいただくと共に、アレルギー代替給食を提供しています。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		朝の打ち合わせ等、その都度確認しながら支援に活かしています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		言語環境を整えるとともに、気持ちに寄り添い、ことばや視覚化で行動の促しができるスキルを積んでいます
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	—	該当なし